





事業シート (概要説明書)






個別事業名	加治丘陵保全用地取得事業		事業開始年度	H5年度					
上位施策事業名	自然環境の保全と活用		担当局・部名	都市整備部					
根拠法令等			担当課・担当名	都市計画課 みどり公園担当					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	大津 征児					
実施の背景	昭和後期から平成のはじめにかけて、市内はもとより首都近郊の貴重な緑地である加治丘陵において、墓地やゴルフ場の開発計画をきっかけに、地権者・市民団体・市で加治丘陵の保全と秩序ある整備開発について様々な話し合いや調査が行われてきた。市は平成5年度に加治丘陵の保全と活用のため公有地化を始め、平成10年3月に「加治丘陵さとやま計画」を策定し、行政と地権者が主体となって加治丘陵の保全と活用を推進している。「加治丘陵保全用地取得事業」は相続発生時等における地権者からの買い取り申し出があった土地について用地を取得している。								
目的 (何のために)	加治丘陵の優れた自然環境を未来へ残し引き継ぐため、恒久的な緑の保全・活用を図る								
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	274ha		対象者数 (全住民に対する割合) 人 (%)					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 [直接・間接] (補助先: 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()							
		事業内容 ・加治丘陵さとやま計画区域424haのうち、自然体験区域 (110.2ha: 都市計画緑地) と文化交流区域 (40ha: 武蔵野音楽学園所有地) を除いた274haについて、相続等で加治丘陵の保全が困難となった土地について、地権者からの買い取り申し出により、予算の範囲内で用地を取得する。 ・現在は自然体験区域の都市計画緑地事業認可に合わせて策定した「加治丘陵保全・活用用地取得基準」をもとに買取申出を受けている。 ・境界確定測量と地積更正登記は地権者負担となる。 ・買取価格は不動産鑑定評価により決定している。							
		関連事業 (同一目的事業等)	○「(仮称) 加治丘陵さとやま自然公園用地取得事業」 都市計画事業認可された自然体験区域の用地取得。 ・加治丘陵不動産鑑定評価業務 501,600円 ・公有財産購入費 34,774,670円 ・加治丘陵境界確定測量業務委託 7,040,000円 計 42,316,270円						
コスト	2021 年度 (予算)		2020 年度 (決算)		2019 年度 (決算)		2018 年度 (決算)		
	事業費合計	0 千円	36,960 千円	31,637 千円	30,796 千円				
	事業費内訳 (2020年度分)	・不動産鑑定評価業務 513,700円 ・公有財産購入費 36,446,280円							
	担当正職員	0 人	0 千円	0.7 人	5,530 千円	0.7 人	5,530 千円	0.5 人	3,950 千円
	臨時職員等								
人件費	0 人	0 千円	0.7 人	5,530 千円	0.7 人	5,530 千円	0.5 人	3,950 千円	
総事業費	0 千円	42,490 千円	37,167 千円	34,746 千円					
財源内訳	国県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
	国県支出金の内容								
	地方債	0 千円	33,200 千円	28,100 千円	26,900 千円				
	その他特財	0 千円	1,000 千円	1,000 千円	0 千円				
	その他特財の内容 入間市緑の基金								
一般財源	0 千円	8,290 千円	8,067 千円	7,846 千円					
財源合計	0 千円	42,490 千円	37,167 千円	34,746 千円					

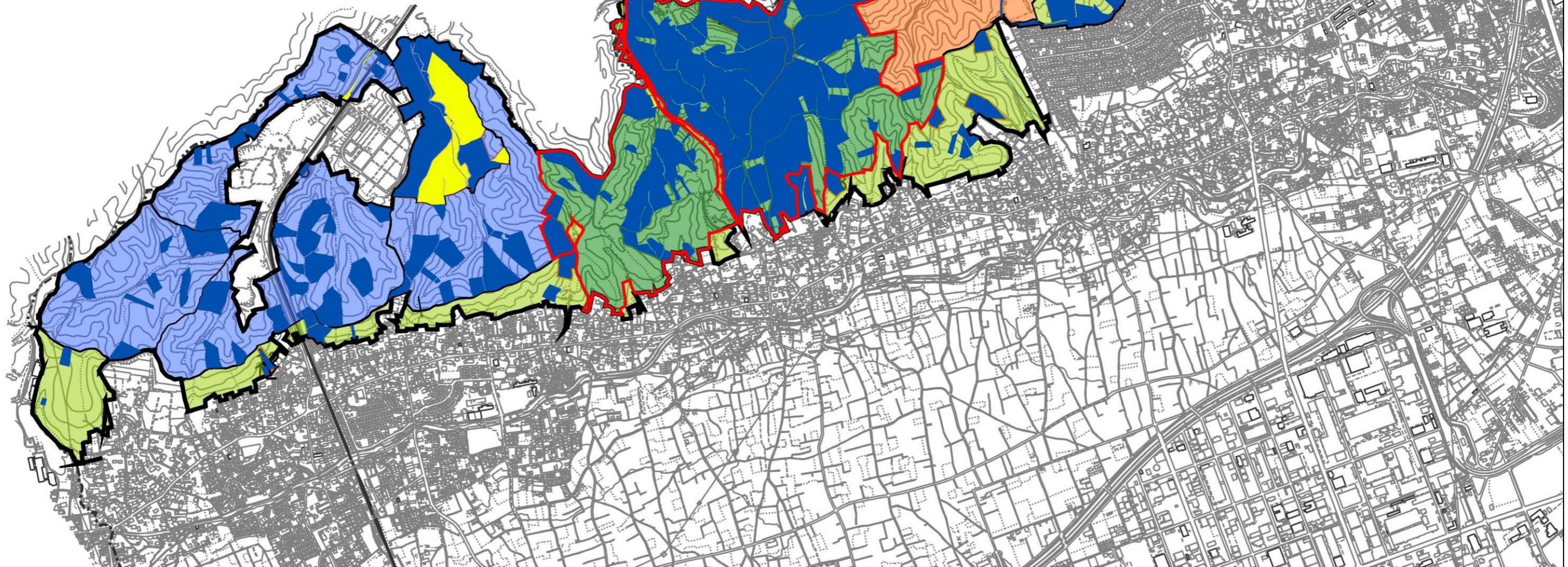
事業シート（概要説明書）

個別事業名		加治丘陵保全用地取得事業			事業開始年度	H5年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
		用地取得面積		ha	1.4	1.1	1.0
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	保全用地取得面積	円/㎡	2,972	3,326
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	加治丘陵さとやま計画区域424haのうち、自然体験区域（110.2ha：都市計画緑地）と文化交流区域（40ha：武蔵野音楽学園所有地）を除いた274haにおいて、公有地化により加治丘陵の恒久的な緑の保全を実現する。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2020 年度	2019 年度	2018 年度
		用地取得率（累計面積、寄付や移管も含む）		%	21.8	21.3	20.3
					/	/	/
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>・「加治丘陵さとやま計画」を基に、加治丘陵の豊かな自然環境が地権者と市が主体となって保全、自然環境が維持されている。この買い取り申出制度が定着していることで、地権者の民間事業者等への売却や開発がされずに現状を維持しており、自然環境の保護につながっている。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で平成27年度から9件（計18筆77,664㎡）の買い取り申し出が買収を待っている状況である。また、公有地化した広大な山林の維持管理についても多額の経費を要している。 ・買い取り申出制度がなくなることで、民間事業者等への売却が予想され、加治丘陵の自然環境の破壊につながる利用がされる懸念がある。また、加治丘陵さとやま計画区域内には公有地化している土地が点在しており、その合間の土地が売却により自然保護に沿わない利用をされた場合、加治丘陵保全活用事業地として市が保有している土地の自然環境や生態系に影響を及ぼす可能性がある。 					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		加治丘陵保全用地取得事業について、他自治体の類似事例は確認できない。					
特記事項		歴代市長の方針に、加治丘陵での総合公園計画等の加治丘陵を保全する構想があった。					

凡例

	加治丘陵さとやま計画区域
	【都市計画緑地事業】 加治丘陵さとやま自然緑地
	市有地
	県有地

採色	名称	面積
	自然体験区域（仮称）加治丘陵さとやま自然公園	約 110 ha
	自然環境研究区域	約 21 ha
	自然活用区域	約 137 ha
	自然観察区域	約 116 ha
	文化交流区域	約 40 ha



縮尺 1 : 15000

加治丘陵マップ

The KAJI Hills Map



埼玉県入間市

四版

①桜山展望園地 ・主な施設【展望台・トイレ・四阿・テーブルベンチ】



●桜山展望台



●展望台から茶畑を望む

②山仕事の広場 ・主な施設【広場・木製遊具・トイレ(身障者用有)・野外卓】



■桜山展望台のご利用時間
○4月から9月までの期間
午前9時から午後5時30分まで
○10月から3月までの期間
午前9時から午後4時30分まで
※年末年始に夜間特別開放があります。
詳しくは「広報いるま」にてお知らせします。

■桜山展望園地と山仕事の広場のトイレのご利用時間
○4月から9月までの期間
午前9時から午後5時30分まで
○10月から3月までの期間
午前9時から午後4時30分まで
※維持管理上閉鎖する場合がありますので、ご了承ください。

③探検の森休憩園地 ・主な施設【四阿・野外卓・丸太ベンチ】



④四季の森休憩園地 ・主な施設【丸太ベンチ】



⑤自然探勝路 ・主な施設【散策路、丸太ベンチ、丸太橋】



⑥トラスト保全6号地 ・主な施設【林間広場・散策路】



ふるさと入間の原風景、『里山』の丘陵

入間市は、首都圏約40kmに位置し狭山茶の里として全国的に知られている都市で、自然と調和したまちとして発展してきました。さらに、加治丘陵をはじめとする豊かな緑と入間川や霞川などの自然に恵まれた暮らしやすいまちとなっています。

このような入間市にあって加治丘陵は、多くの野生生物が生育・生息する自然の拠点であるとともに、昔から人々の生活と密着した『里山』として、また市民にとってはまちのシンボル・原風景として愛されています。

『里山(さとやま)』とは奥山に対比して用いられる言葉で、昔から人々の生活の場に近く、薪や木炭の原木の切り出し、柴刈りや下草刈り、苗床を作るための落ち葉かきなど、農村の生活と結びついて長い間手入れされてきた山のことです。

里山には、これからの持続可能な社会を実現していくための手がかりがたくさん詰まっています。

市では、『現在の自然は、子孫や未来の市民からの預かりもの』との考えに立ち、丘陵の自然を守り、自然とふれあい親しめる場や環境学習の場、さらに子どもたちが自然の中でさまざまな活動のできる場として活用していきたいと考えています。

懐かしくて、心地よい、加治丘陵をぜひお楽しみください。

■連絡先
〒358-8511 埼玉県入間市豊岡1-16-1
入間市役所 都市整備部 都市計画課
TEL【04-2964-1111】
E-mail【ir271000@city.iruma.lg.jp】
ホームページ【http://www.city.iruma.saitama.jp/】

加治丘陵へのアクセス

■電車

- ①西武池袋線『仏子駅』下車
- ②JR八高線『金子駅』下車

■バス

- ◇西武バス
 - ①西武池袋線『入間市駅』より
 - 行 先『河辺駅北口、中神、南峯、七日市場、金子駅、東青梅駅』
 - バス停『中神、谷ヶ貫寺、上谷ヶ貫、西三ツ木、寺竹』各バス停下車
 - ②JR青梅線『河辺駅北口』より
 - 行 先『入間市駅』
 - バス停『寺竹、西三ツ木、上谷ヶ貫、谷ヶ貫寺、中神』各バス停下車

※専用の駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※2018年2月現在

昔から親しまれてきた身近な自然がいっぱい!



◇チゴユリ
4～5月、足首くらいの高さまで伸ばした茎の先に白い花をひとつ咲かせます。柔らかい葉が波うつのも特徴です。

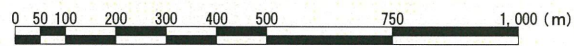


◇コアジサイ
自然のアジサイの仲間です。5～6月に青白い細かい花をつけます。林内に多く生えています。



◇カシワバハグマ
林内、道沿いで見られます。秋にキク科らしい花を咲かせます。花の後は綿毛になります。

入間市 加治丘陵マップ



【ご利用される方へお願い】

- ・ゴミは各自でお持ち帰りください。
- ・車両を乗り入れたり、駐車しないでください。
- ・はり紙や広告物などの掲示は禁止です。
- ・丘陵内には私有地が多くあるので、施設と遊歩道以外の立ち入りはしないでください。
- ・植物を採ったり、動物を傷つけたりしないでください。
- ・無断で植物を植えたり、動物を放したりしないでください。
- ・他の利用者に危険や迷惑となる行為（火の使用、花火、犬の放し飼いや、ゴルフの練習、大きな音を出すこと、その他の占用行為など）は禁止です。

【ご利用に関する注意事項】

- ・歩きやすい靴、長袖、長ズボン、帽子など（黒っぽいものは避ける）を着用しましょう。
- ・滑りやすい場所やつまずきやすい場所があるので、安全確認を心がけてください。
- ・交通状況には十分注意し、交通ルールを守って歩きましょう。
- ・樹木の倒伏や落枝に注意してください。
- ・風の強い日や雪の降る日のご利用はお控えください。

主要凡例	
	遊歩道
	ふれあい茶ん歩道
	道路
	主要道路
	トイレ
	眺望ポイント
	道標（道標番号）
	バス停

